

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	アフリカの文化とことば (Culture and Language in Africa)			新座(Niiza)
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	地理学・人類学から見る現代アフリカ社会			
担当者名 (Instructor)	宮内 洋平(MIYAUCHI YOHEI)			
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)	
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)	
備考 (Notes)				

#### 授業の目標(Course Objectives)

地理学と文化人類学の理論をふまえつつ、アフリカの文化を学ぶことを通して、現代社会が直面する諸問題を第三者に説明できるようになる。

Based on the theory of cultural anthropology and geography, students will become able to explain the problems facing modern society to others by learning about African culture.

#### 授業の内容(Course Contents)

グローバル化による市場経済の浸透や開発援助による介入、さまざまな苦難にさらされながらも、アフリカ社会が独自の文化と社会的紐帯を生み出すことで対処している姿を考察する。

We will examine how African society copes with creating unique cultures and social ties while being exposed to market economy penetration by globalization, intervention by development assistance, and various difficulties.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: アフリカから学ぶ
2. 文化の商品化と観光促進
3. 自然保護と地域住民
4. 伝統社会とコミュニティ主導開発
5. 感染症からみる自然と文化
6. 教育と学び・遊びの文化
7. アフリカ文学の潜在力
8. 在来農業と開発
9. 土地収奪と牧畜文化
10. 資源と紛争と電子機器
11. 難民と受け入れ社会
12. 廃棄物のゆくえ
13. 携帯電話と新たなライフスタイル
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

不明な用語は事典や基本文献で調べる。指示された資料を各自で読むこと。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

小テスト(10%×6回)(60%) / 最終テスト(Final Test)(40%)

#### テキスト(Textbooks)

テキストは使用しない。Web上の論文を使用する。

#### 参考文献(Readings)

1. 松田素二、2014、『アフリカ社会を学ぶひとのために』、世界思想社 (ISBN:978-4790716167)
2. 松村圭一郎・中川理・石井美保、2019、『文化人類学の思考法』、世界思想社 (ISBN:978-4790717331)
3. 峯陽一、2019、『2100年の世界地図 アフラシアの時代』、岩波書店 (ISBN:978-4004317883)
4. 松本尚之ほか、2019、『アフリカで学ぶ文化人類学』、昭和堂 (ISBN:978-4812219065)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

